



タウンと

『持留川をきれいに』

『持留川の水をきれいにする会』を立ち上げている大丸公民分館のみなさんは、11月24日、持留川河川敷の草払いを実施しました。

大丸公民分館では、河川敷の雑草などを刈り取ったり、川の水をきれいにして鯉を泳がせるなど、人と魚の共生の憩いの場所として



校区民が楽しめる、『鯉の里・三本松』の実現を目指しています。

また、この日は持留川の上流から下流かけての水の汚濁状況も調べ、ペットボトルに各調査地点の水をくんできて濁りを比較しましたが、下流にいくにつれて汚濁がひどい状態でした。



『初めてのサツマイモ掘り』

大崎保育所では、1歳・2歳児を除く56人の園児が、自分達のおじいちゃん、おばあちゃんの応援をもらいながら、近くの畑で初めてのサツマイモ掘りを体験しました。

このサツマイモは、今年5月、約3アールの畑に園児達が植えたもので、園児らは、サツマイモの掘り方をおじいちゃん達に習い、教わったとおりに周囲から土を掘ると、大きなサツマイモが顔を出し、みんな大きな声をあげて喜んでいました。



竹中所長は、「収穫の喜びを知ってもらい、嬉しく思います。園児達の表情もいきいきとしていました。今後も続けていきたいと思います。」と、話していました。



『女性参画によるまちづくり』

大崎町地域女性連絡協議会（久保幸子会長）は、町内の女性団体に呼びかけ、あすばる大崎で『地域女性の集い』を開催しました。

当日は約70人が参加し、マジックショーのアトラクションのあと、東町長らによる市町村合併についての説明がありました。そのあと、“女性の立場から大崎町を考えましょう”と題したテーマで意見交換会を行い、そこで、参加者から大崎町に関する様々な意見が出ました。

久保会長は「今回は、女性が参画し、いろいろな意見を前面に出すいいきっかけになったのでは。」と話されていました。

